

R5年度 「保育基礎」 シラバス	単位数 学科・学年・学級	4単位 生活科学科 第2学年 4組
------------------	-----------------	----------------------

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、保育を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育の意義や方法、子どもの発達や生活の特徴及び子どもの福祉と文化などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 ・子どもを取り巻く課題を発見し、保育を担う職業人として合理的かつ創的に解決する力を養う。 ・子どもの健やかな発達を目指して自ら学び、保育に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。 ・全国高等学校家庭科保育技術検定2級の合格を目指す。(造形表現技術・言語表現技術)
使用教科書・副教科書等	教科書 「保育基礎」 (実教出版)

2 学習計画及び評価方法等

月	学習内容	相当時間	累計	学習のねらい・目標	資料・方法 題材・その他	評価法
4	保育基礎を学ぶにあたってのレクレーション 第1章 子どもの保育 1 保育の意義 2 保育の方法 3 保育の環境	1 4 6 5	1 5 11 16	<ul style="list-style-type: none"> ・保育基礎を学ぶにあたって、学習の意義や内容、学習方法、評価の方法を理解する。 ・保育の意義と方法、保育の環境の特徴と役割について理解する。 ・子どもの心身の状態や発達に応じた保育の方法とその環境について課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫する。 ・子どもの保育の方法や保育の環境について自ら学び、保育に主体的かつ協働的に取り組む。 	ワークシート	A C D B
5 6 7	※ 保育検定対策 造形表現技術3級・言語表現技術4・3級 ・音楽リズム4級 第2章 子どもの発達 1 子どもの発達の特性 2 子どものからだの発達 3 子どもの心の発達	22 6 6 6	38 44 50 56	<ul style="list-style-type: none"> ・折り紙と描画・折り紙と描画による平面構成の技術を検定する。 ・童話等の短文読み聞かせ・童話の読み聞かせの技術を検定する。 ・歌唱・拍子をとりながら簡単な童謡の歌唱技術を検定する。 ・生涯発達における乳幼児期について、基本的な発達の特性と心身の様々な機能の発達を発達時期ごとの子どもの姿を通して理解する。 ・乳幼児期の子どもの健全な心身の発達について課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫する。 ・子どもの発達について自ら学び、保育に主体的かつ協働的に取り組む。 	DVD「保育技術検定4・3級対応」 ワークシート 保育人形 乳幼児の発育の変化図	D A C D B
9	第4章 子どもの文化 1 子どもの文化の意義と支える場 2 子どもの遊びと表現活動	4 6	60 66	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの文化、遊びと表現活動について理解し、関連する技術を身に付ける。 ・子どもの健やかな発達を促す遊びや表現活動について課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫する。 ・子どもの文化について自ら学び、保育に主体的かつ協働的に取り組む。 	ワークシート ペーパーサート 布絵本 絵本 紙芝居	A C D B
10 11 12	※ 保育検定対策 造形表現技術2級 言語表現技術2級 ※実習 子どもとかかわってみよう ※伝統行事、伝承遊び	22 12 8	88 100 108	<ul style="list-style-type: none"> ・貼り絵(切り絵・ちぎり絵)による平面構成・貼り絵による折り紙と描画による平面構成の技術を検定する。 ・絵本の読み聞かせ・言語表現に関する基礎的知識と絵本の読み聞かせを検定する。 	保育検定対策資料	D
1 2 3	第3章 子どもの生活 1 生活の生活と養護 2 生活習慣の形成 3 健康管理と事故防止 第5章 子どもの福祉 1 子ども観 2 子どもの福祉 3 子育て支援	6 6 6 4 6 4	114 120 126 130 136 140	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの生活と養護について理解し、適切な生活習慣の形成や健康と安全管理に関する保育の技術を身に付ける。 ・子どもの生活と適切な養護について、課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫する。 ・子どもの生活と養護について自ら学び、保育に主体的協働的に取り組む。 ・児童観の変遷や児童福祉の理念と制度について理解する。 ・子どもの福祉を支える場の役割について課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫する。 ・子どもの福祉について自ら学び、保育に主体的かつ協働的に取り組む。 	保育人形 ワークシート	A C D B A C D B

評価の方法・・・A 出席状況 B 定期考査 C レポート・提出物 D 授業・実習に対する意欲